

横浜バスティン研究会 活動報告

2017年9月21日

リトミックワークショップの復習

今月の研究会は大城依子先生をお招きして開催されたリトミックワークショップの復習を行いました。ワークショップは子供たちのレッスンを聴講する形式でしたので、今回はいろいろなリトミックを指導者たちが実際に取り組みました。

まずはワークショップに参加した方たちから気づき、感想の発表。大城先生の命令調ではない、さりげない誘導に感銘を受けた。5音の上行、下行の聞き分け「座りましょう、立ちましょ



うしょう」はすぐにレッスンに取り入れた。年齢別による上達度、発達度の違いを踏まえた指導をピアノのレッスンにも取り入れたい。「自由に」動いたり、表現したりは難しい。普段のレッスンではこれもあれも教えなくてはと思うあまり束縛していないかと考えさせられた。リズム叩きリレーやジャンプリレーではアナクルーシス（準備）のできない子が見

られた、子供たちのレッスンを見学することによって俯瞰的に把握できたなどの発表がありました。

リトミックの実践は①ジャンケンポン 勝って（負けて、あいこ） 5拍子の体験

②ジャンポン 勝ったら嬉しいポーズ、負けたら残念なポーズ

③手拍子リレー

④ジャンプリレー

⑤ボール転がし 隣の人へ転がして2拍子、1つとばしの人へ転がして3拍子、

⑥ドレミのうた（ダルクローズ作曲）で彫刻の森を創作、表現



ワークショップに参加できなかった方も体験、共有することができ、またリズムを学んでいる方のお話も聞くことができ、有意義な研究会でした（文 石渡真理子）